

# 大阪市労組との団交拒否

## 大阪高裁も大阪市を断罪



勝利判決を受けて喜ぶ大阪市労組の仲間たち(2月4日 大阪高裁前)

2月4日、大阪高裁は大阪市労組との団体交渉を拒否し続ける大阪市の対して、地裁判決を支持し、大阪市の請求を棄却する判決を下しました。大阪市の松井市長は高裁判決を受け、大阪市労組との団体交渉に応じ、市民の税金を無駄づかいすることを止めるべきです。

## 定年引き上げ オンライン学習会



オンラインで講義する坂田副委員長

### 誰もが年金受給まで安心して働き続けられる制度へ

定年引き上げについては組合員の関心も高く、人生設計に関わることから、ぎりぎりでもよいというものではありません。組合員の生活を守り、働き続けられる職場をつくるために、当局提案を待つことなく、積極的に取り組む必要があります。また、60歳を超えた組合員だけの問題にするのではなく、50歳代の昇給カーブ見直しをはじめ、若い世代の将来にも関わる問題であることを伝える必要があります。そこで、定年引き上げに関する労使交渉に向けて学習会を開催したものです。

#### 今月のキーワード

Web 3

最近、「Web3 (Web3.0)」という言葉を目にします。Web3 (Web3.0) は、登場して間もない概念なので、明確な定義はされていません。しかし、あえて簡単に表現するならば「分散型インターネットの時代」と言えるでしょう。巨大企業が持つインターネットはプライバシー問題やセキュリティのリスクがありました。その課題を、ブロックチェーン技術を用いて解決すると言われるのがWeb3 (Web3.0) です。

## 自治労連第62回中央委員会

オンラインと会場で「団結ガンバロウ！」



# 賃上げ、格差是正、仲間づくりへ 全国各地から決意あふれる

1月21日、自治労連第62回中央委員会が開催され、本部から提案された2022春闘方針などすべての議案が満場一致で採択されました。

討論では、「ケア労働者の処遇改善は焦眉の課題。これを起爆剤にして全職員の賃上げにつなげよう」、「現業職の給料改善で生涯賃金が150万円以上の改善。最賃が公務員賃金に直結していることを実感」など、賃金確定闘争の成果を確認。

また、「学童指導員は大半が会計年度任用職員で月収15万、20万の指導員が6割。経済対策を活用して、すべての指導員の処遇改善を」、「専門性や熟練が求められるのに、月10万円にもとどかない電話交換手、学校司書について「明日は見えるか非正規自治体公務員」とマスコミが連載し反響。声を出すことさえ躊躇する会計年度任用職員の法改正へ世論づくりを」など、処遇改善・格差是正を求める発言が相次ぎました。

直しを、「自治労連共済の改定内容に反対。労働組合のあり方にも関わる。少数意見の尊重を」などの要望も寄せられました。若手の思いを受けとめ要求実現と組合加入を結合

非正規職員の雇用安定と格差是正に向けた法改正を 坂田中央委員(大阪自治労連本部)は、①一時金削減と、年度またぎの不利益遡及という法の大原則に反する6月減額調整をさせない要求、②全ての自治体職員の賃上げを求めるとともに、政府の経済対策も活用して民間事業所で働くケア労働者や自治体職場の会計年度任用職員の賃上げ、コロナ禍で奮闘する病院職員の賃上げを求める要求、③定年引き上げにあたり全ての職員が年金受給まで安心して働き続けられる制度化を求め、④自治体デジタル化が住民サービスの向上を図り職員の負担軽減につながるものとなるよう求める要求などを提出して、例年よりも春闘交渉を前倒しすることを報告。さらに会計年度任用職員の雇用安定と格差是正に向けた法改正の取り組みの具体化を要望しました。

#### 今月のキーワード

おうち時間

必要不可欠ではない外出を控えて自宅で過ごすこと。「ステイホーム」は行政による呼びかけとして多く用いられたキーワード。もともと「家にいるべし」という命令形の英語表現(のカタカナ表記)です。これに比べ、「おうち時間」は語感も柔和ととげがありません。こうしたことから、SNSなどで「おうち時間をまったり過ごす」などと使うことも多くなっています。